

## 2017年5月期 第1四半期 決算概要

- エキスパートサービス（人材派遣）や、BPO事業（インソーシング、アウトソーシング）等多くのセグメントで増収となり、売上高は69,231百万円（前年同期比+8.4%）
- 需要が弱含んでいる再就職支援の減収影響に加え、運用利回り低下と割引率の見直しに伴い退職給付費用が前年同期比で大幅に増加し、営業利益は215百万円（△38.5%）と減益
- 経常利益は174百万円（△32.1%）  
親会社株主に帰属する四半期純損失も△539百万円といずれも減益になったものの、計画比では堅調に推移

### 1. 第1四半期連結業績（2016年6月1日～8月31日） (百万円)

	2016年5月期1Q	2017年5月期1Q	増減	増減率
売上高	63,891	69,231	+5,339	+8.4%
売上総利益 (売上比)	13,412 21.0%	13,372 19.3%	△40 △1.7pt	△0.3%
販売費及び一般管理費 (売上比)	13,061 20.4%	13,156 19.0%	+94 △1.4pt	+0.7%
営業利益 (売上比)	350 0.5%	215 0.3%	△135 △0.2pt	△38.5%
経常利益 (売上比)	256 0.4%	174 0.3%	△82 △0.1pt	△32.1%
親会社株主に帰属する四半期純損失 (売上比)	△323 -	△539 -	△216 -	-

### 2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前） (百万円)

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	36,378	+3,157	+9.5%	+380	+54	+16.8%
インソーシング（委託・請負）	18,174	+1,248	+7.4%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	1,541	+37	+2.5%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	1,536	+116	+8.2%			
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	3,386	△646	△16.0%	+107	△687	△86.5%
アウトソーシング	7,478	+1,507	+25.2%	+1,134	+492	+76.9%
ライフソリューション、パブリックソリューション	1,508	+166	+12.4%	△100	+92	-
消去又は全社	△773	△248	-	△1,305	△86	-
<b>合計</b>	<b>69,231</b>	<b>+5,339</b>	<b>+8.4%</b>	<b>215</b>	<b>△135</b>	<b>△38.5%</b>

#### 主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	幅広い業界で受注が増加し、外国語事務や経理などの専門事務をはじめ多くの職種で伸長。ITシステムの本格活用により、長期稼働者や新規登録者も増加。(株)パソナ OGXA <sup>※1</sup> や、(株)ムラタアクティブパートナー <sup>※2</sup> から譲り受けた人材派遣事業も期初から寄与。
インソーシング	多様なBPO基盤の構築からグループシナジーも創出。パブリック分野ではシティプロモーションなど地方創生事業の受託に加え、行政事務代行も引き続き伸長。
グローバルソーシング	前期に子会社化したインドネシアのDGS <sup>※3</sup> の寄与もあり人材派遣が増収。給与計算代行や採用代行等の需要も北米中心に好調。
キャリアソリューション	人材紹介は管理部門や女性管理職候補を中心に成約好調。再就職支援は市場全体が縮小。
アウトソーシング	福利厚生事業は導入企業数が順調に推移。報奨金等をポイント化し管理運営するインセンティブ事業も堅調。

<sup>※1</sup> (株)パソナが子会社化した大阪ガスエクセレントエージェンシー(株)    <sup>※2</sup> (株)ムラタアクティブパートナーは(株)村田製作所の子会社  
<sup>※3</sup> PT. Dutagriya Sarana (デュ-タグリヤ サラナ)

### 3. 財政の状況

(百万円)

	2016年5月期 1Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	52,029	△4,158	△7.4%	現金及び預金の減少 2,981 百万円、 受取手形及び売掛金の減少 2,016 百万円等
固定資産	28,830	△338	△1.2%	
資産合計	80,859	△4,496	△5.3%	
流動負債	42,488	△2,706	△6.0%	買掛金の減少 2,048 百万円、 未払法人税等の減少 860 百万円等
固定負債	13,060	△365	△2.7%	
負債合計	55,548	△3,072	△5.2%	
純資産合計	25,310	△1,424	△5.3%	親会社株主に帰属する四半期純損失 539 百万円、 配当金の支払 447 百万円、非支配株主持分の減少 389 百万円等
自己資本比率	22.2%	△0.0pt		

### 4. 2017年5月期（2016年6月1日～2017年5月31日）連結業績予想

当四半期の業績は概ね計画通りに推移していることから、2016年7月15日に公表した業績予想を据え置きます。

(百万円)

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	通期	前期比
売上高	136,800	+7.2%	146,200	+7.4%	283,000	+7.3%
営業利益	700	△34.7%	3,600	+29.1%	4,300	+11.4%
経常利益	600	△38.6%	3,600	+25.1%	4,200	+8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△700	—	1,200	+107.6%	500	+105.1%

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは <http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。